

株式会社日本介護センター

にっかい通信

Vol.078

2020

秋号

NIKKAI NEWS



今日からはじめよう
～口腔体操～
日介センター足立東



コロナに負けない夏祭り
日介ケアセンター島根



ご家族に伺いました
～移動支援～
日介センター吉祥寺

秋の挨拶

秋の声が聞こえる美しい季節がやってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスが未だに終息せず、今後はインフルエンザにも気を付けなければならないので、不安を感じることもあるかと思えます。職員一同、少しでも皆様の不安が解消し、安心して実りの秋をお過ごしできるように支援させていただく所存でございます。

株式会社日本介護センター 職員一同

今日からはじめよう

～口腔体操～

日介センター足立東

年齢を重ねると身体の機能が低下していくものです。足腰の筋力低下・視力の低下など様々です。私たちが毎日必ず行うこと、飲食。お水を飲んだ時ゴホンゴホンとむせ込んだ……。そんな経験がある方も多いのではないのでしょうか。それは、加齢により噛むことや飲み込むことに必要な筋力が衰えることが原因の一つだそうです。これからもおいしく食べて長生きするためにはそれらの筋力をキープする事が大切です。今回は飲食をスムーズにする体操をご紹介します。

是非実践してみてください。

①あいうえお運動

【あ】目と口を大きく開けます。

【い】思い切り口を横に伸ばします。

【う】顔を中心に集め、唇を尖らせます。

【え】舌を前下に思い切り出します。

【お】目と口を縦に開いて伸ばします。

顔の筋肉をほぐすようにそれぞれ5秒ほどキープしましょう。

②舌だし運動

口を開いて舌をだし、「あっかんべー」をします。この時「べー」と5秒から10秒ほど声に出しましょう。(声に出さなくても大丈夫です)次に舌を「上」「下」「左」「右」の方向へゆっくりと動かします。その際にしっかりとその方向へ曲げるように意識し、2～3回繰り返すことを目安に行いましょう。



コロナに負けない夏祭り

日介ケアセンター島根

日介ケアセンター島根では毎年8月に夏祭りを開催しています。今年も26日・27日の2日間の日程で開催いたしました。ですが、昨今の新型コロナウイルス対策の折、例年ご好評いただいていた綿あめやチョコバナナ、かき氷などをご利用者の皆様と一緒に作る手作りおやつは行えなくなってしまいました……。



左：おやつ釣り、右：コルク銃での射的

そんなコロナ禍の中でも夏祭りの雰囲気を楽しんでいただけるよう、ご利用者方で手分けして彩色した提灯絵なども飾り付けて開催♪レクリエーションも、その日のおやつを釣り上げるおやつ釣りゲームや、定番のコルク銃での射的に輪投げと屋台の出店さながらのレクリエーションで皆様楽しまれていらっしゃいました。おやつを食べる前には皆様勢揃いで記念撮影。今年は皆様マスクを付けての記念撮影でしたが、来年は笑顔がくっきり写った集合写真を撮れますように職員一同願っております。

ご家族に伺いました

～移動支援～

日介センター吉祥寺

移動支援をご利用している松本さんのご家族へ、移動支援サービスについて伺いました。



左：松本さん(ご利用者)、右：ご家族(姉)

Q2.利用してみていかがでしたか。

A2. 弟は重度知的障害者なのですが、幸いなことに誰かの指示と見守りがあれば歩くことができます。この移動支援サービスはヘルパーさんと一緒に歩くことができ、2時間あるいは3時間、更には8時間でも歩くことが可能で、素晴らしいサービスだと思っています。本人もただもくもくと歩くことが楽しいようです。しかし問題もあります。傘をさせないので雨の日は難しいです。また、汗をかくので服はスポーツウエアで何とかなっていますが、リハビリパンツは汗でびしょりで、途中の着替えも難しいから、どうしたらいいかまだ解決できないでいます。

Q1.移動支援の利用動機を教えてください。

A1. 去年の12月から弟を引き取り、一緒に生活を始めました。弟は何もせず家の中でじっと座っているだけの生活が長かったので、歩くことができなくなるのではないかと心配でした。今後、弟と旅行に行くなど積極的に人生を楽しみたいと思っていましたので、それを実現するには歩けることが重要なポイントとなります。市役所の高齢者と心身障害者の両方の福祉サービスの相談をしていた時に移動支援サービスのことを知りました。このサービスは、日常的な散歩の手助けをしてくださるサービスで、私が一番大切にしている、もっとも求めていたことでした。

Q3.これからのご希望はありますか。

A3. 今はコロナ感染の問題があり、3密を避けざるを得ません。混雑のない道を歩くだけですが、安全な時代になれば、体育館のジムでの運動、美術館や動物園など様々な楽しみも挑戦できればと思っています。



移動支援のサービス中

左：松本さん(ご利用者)、右：吉本ヘルパー

インフォメーション

2020年度 永年勤続表彰式 2019年度 社長賞表彰式

当社の創立記念日である7月30日に、本社会議室で永年勤続表彰式及び社長賞表彰式が執り行われ、会社の発展に大きく貢献している職員へ会長より賞状並びに記念品が授与されました。



今年度の永年勤続表彰は勤続20年の職員もおり、長きにわたり職務に精励していただいております。また、社長賞は2019年度の売上及び利益向上に寄与した目黒支店と豊島支店が選ばれました。今年度は新型コロナウイルスを踏まえ、懇親会は行いませんでしたが、気持ちは一致団結。今後も社会の発展と人類の福祉に貢献していくことを誓い合いました。



高谷さんのイラスト
作：K.Y.

「介護ロボットNKC1000」 につかひ短編小説 第2回

金属のボディを拭くのであった。
寧に油をさし、温かみの声掛けと共に、
ユーザーのボディに優しくネジを締め、
利

今日も介護ロボNKC1000は、
る介護が受け入れられていたからだ。
1000の優しくて、丁寧で温かみのあ

言う利用者様も沢山いた。それはNKC
1000が好きだと
ロボットが主流となっていた。

だが、古いNKC1000が好きだと
てコンパクトで作業時間が早い高性能の
現在ではNKC1000より、小さく
介護ロボットNKC1000は、大分古
いたタイプのロボットになっていた。

介護を人間がやらなくなり、全ての介
護をロボットがやる時代になって久しく
なった。

「介護ロボットNKC1000」

日介センター代々木
支店長 高谷 充典

・日介センター

代々木・蒲田・足立・足立東・足立西・杉並
吉祥寺・目黒・豊島・島根・竹の塚・永福

・日介ケアセンター

花畑・本木・西新井・六町・島根・成田東
編集責任者：(株)日本介護センター



発行元/株式会社日本介護センター

東京都文京区本郷 3-23-14 ショウエイビル 2 階

Tel:03-3830-6140 Fax:03-3830-6141

<http://www.nikkai-center.co.jp> info@nikkai-center.co.jp

発行日/令和2年10月20日